



お楽しみだよ

令和7年7月14日(月) NO. 2

共に学び 共に語り合おう 幼保小のなめらかな接続のために

今年度も、夏休みに「園参観と語る会」と「学習会」を開催します。連続性・一貫性のある幼年期教育のあり方について話し合う貴重な機会です。共に幼年期教育について学び、そして、幼保小の参加者それぞれの立場から、子どもたちの様子や困り感、今後の連携について、思う存分に語り合しましょう。

「悟真寺幼稚園参観と語る会」

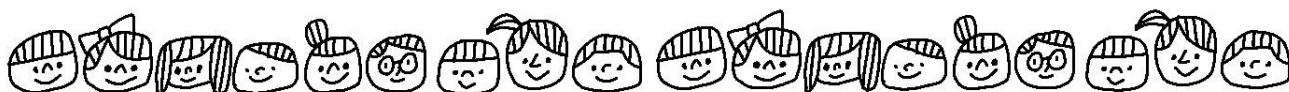
日時	令和7年7月23日(水) 9:30~11:30 (9:10~受付)
日程	・はじめの会 9:30~ 9:45
	・小学校1年生の様子紹介 9:45~10:05
	・保育参観 10:10~10:40
	・語る会(グループごと) 10:45~11:30

【テーマ】幼保こども園と小学校との

なめらかな接続のために共有したいこと

・終わりの会 11:30~11:40

※会終了後、アンケートへのご協力をお願いします。(7月30日まで)



「令和7年度 学習会について」

日時 令和7年8月26日(火) 14:00~16:30 (13:40~受付)
会場 アイプラザ豊橋2階 小ホール
講師 豊橋才能教育こども園理事長・元椋山女学園大学教育学部教授

齋藤 善郎 様

日程	・受付 13:40~14:00
	・開会行事 14:00~14:10
	・講演 14:10~15:10

「幼保小の連携及び接続の理解と架け橋期のカリキュラムのあり方」

・質疑応答	15:10~15:20
・グループ討議	15:30~16:10
・閉会行事	16:10~16:20

※会終了後、アンケートへのご協力をお願いします。(9月2日まで)

幼児教育と小学校教育をつなぐ

小学校は、各教科の学習内容を系統的に学ぶ教育課程があり、時間割に沿った一日の流れの中で過ごしています。1時間ごとに何を身につけるのかといったねらいを明確にし、その達成度を見極めて指導に生かすことを大切にしています。幼児期の教育においては、主体的（自発的）な活動である遊びを中心とした生活の中で過ごしています。活動に十分取り組める時間の確保や活動を継続して取り組めるような環境を整える等、一人一人に応じたきめ細かな指導を行うことを大切にしています。

今回は、園の先生方が子どもたちと関わる場面で大切にしていること、支援や声かけの仕方について紹介します。1年生の見童が、小学校での生活に早くなじめるようにするための支援の参考にさせていただけたらと思います。

入室ができない・遊びがやめられないとき

「お腹がすいたから、食べに行こう」「おもしろそうだからやってみよう」と、誘うような声かけをします。



1日の生活リズムがわかる絵カードを見せ、残りの時間に意識が向くような支援を行っています。

「何のはりまで遊ぶ?」「いつまでにする?」など、自分でいつまでにするか、きりを見つけられるような声かけをします。

けんかをしてしまったとき



自分がどうしたいか言葉で伝えられるように働きかけています。「使いたかったね」と、まず子どもの気持ちを受け止め、自分の気持ちを言葉にして伝える中で、相手の思いに気づけるようにしています。

外国籍の子どもがいるとき

外国籍の子どもも、自分の気持ちが伝えられるように、感情を表す言葉の一覧表を作って、保護者に渡しています。



日本語と母国語の絵本を、相互に読み聞かせすることを保護者にすすめています。

この実践で見られた子どもたちの10の姿

自立心

協同性

言葉による
伝え合い

道徳性・
規範意識の
芽生え

社会生活との
関わり

園の先生の工夫をちょっと拝見

写真や絵カードで見える化



子どもたちが視覚的に理解しやすいように写真や絵カードを使用しています。一日の活動の流れをイメージしやすいように、絵カードを並び替えながら手順を一緒に考えています。絵カードを使って活動の流れを理解することで、指示がなくても自分で考えて動いたり、活動にきりをつけたりすることに役立てることができます。